

編輯部報情閣内

報週真寫

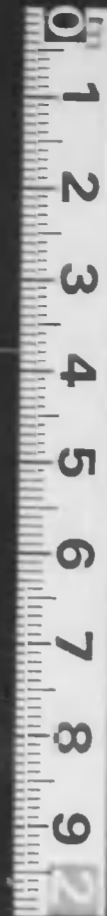
ンセ十 號日八十月五

下事變
の變
帝都を護る
犬も戦士



待機の一瞬
軍用犬訓練大會

昭和十三年五月十八日発行 (第一回大戦日發行) 第十四號

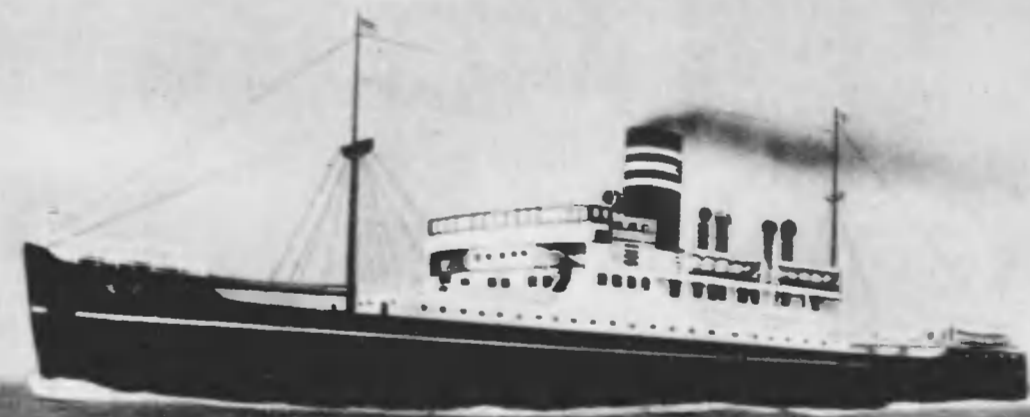




皇后陛下には、
若葉連る五月六日
良くも日本赤十字
社に於ける同社第
四十六回通常總會
及び日比谷公園に
於ける愛國婦人會
第三十七回通常總
會に行幸、事變下
にあつて雄々しい
活躍をつけてお
る兩團體に對し優
渾なる令旨を賜は
つた。
— 日比谷
にて撮影

明朗北支へ

南嶺 北嶺
筑前 筑北
丸丸 丸丸
山山

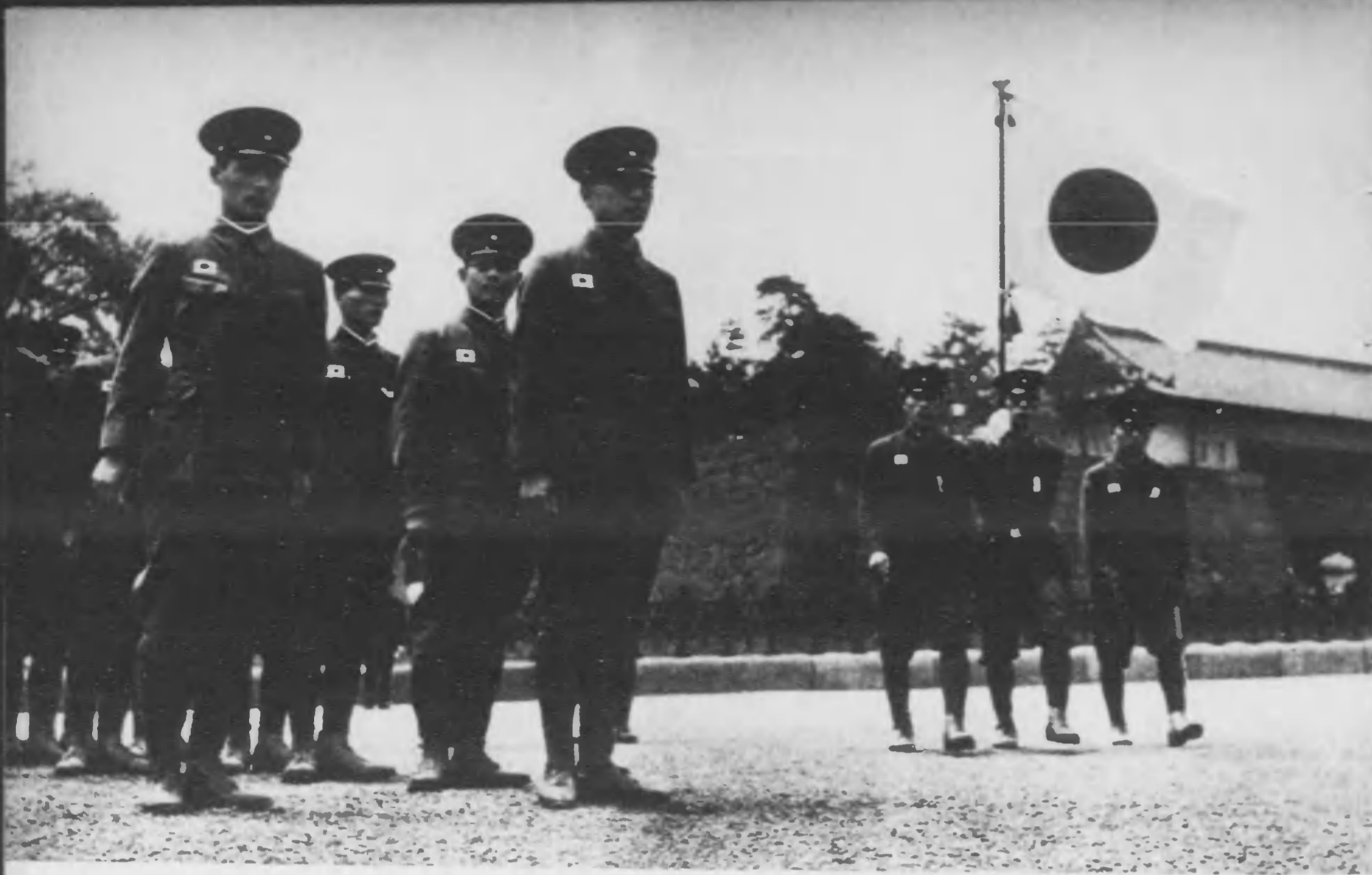


近海郵船
東京・丸の内

船名	開行	開行	開行	開行	開行	開行	開行	開行	開行
筑北丸	五月三日	五月七日	五月十一日	五月十五日	五月十九日	五月廿三日	五月廿七日	六月一日	六月五日
筑前丸	五月六日	五月十日	五月十四日	五月十八日	五月廿二日	五月廿六日	六月一日	六月五日	六月九日
南嶺丸	五月九日	五月十三日	五月十七日	五月廿一日	五月廿五日	五月廿九日	六月三日	六月七日	六月十一日
北嶺丸	五月十二日	五月十六日	五月二十日	五月廿四日	五月廿八日	六月一日	六月五日	六月九日	六月十三日
筑北丸	五月十五日	五月十九日	五月廿三日	五月廿七日	六月一日	六月五日	六月九日	六月十三日	六月十七日
筑前丸	五月十八日	五月廿二日	五月廿六日	六月一日	六月五日	六月九日	六月十三日	六月十七日	六月廿一日
南嶺丸	五月廿一日	五月廿五日	五月廿九日	六月三日	六月七日	六月十一日	六月十五日	六月十九日	六月廿三日
北嶺丸	五月廿四日	五月廿八日	六月一日	六月五日	六月九日	六月十三日	六月十七日	六月廿一日	六月廿五日



上海、青島へは
日本郵船で



日本の青年の健實な精神はさつと一齊にあける俣手の禮にもあらはさねば、と近衛歩兵第一聯隊で兵隊さんから敬禮を習ふ「もつと眼をひいて、眼をばつちり開いて」と、なかなか難かしい。

新しい團旗を捧げ、宮城遙拜



友邦へ結ぶ若人

大日本青少年
獨逸派遣團



全員揃つて明治神宮参拜
大和男子に榮えある日、端午の節句に結團式は行はれた。團長訓示と團員の宣誓

いよいよ今日から大日本青少年獨逸派遣團員だ。頭はすべて五分刈りに、著るは新日本型仕立ておろしの國防色ユニフォーム。立派に果さん我等の使命！

中歐の盟邦ドイツとお互には、殊に防共協定が締結されてからは、警備の度を加へ、昨年支那形勢とたび起る中、ドイツは積極な親善性にあつてよくわが國の眞意を理解し、敢然としてわが國の立場を支持しつゝある。

昭和十一年末、ドイツの青年教育の現状、國民團體の中心といふべきヒトラー・ユングワルトの指導本部から我々青少年を相互に親善交遊、兩國友好關係をより緊密にし度いと申し出られた。ヒトラー總統も大いに感服となり、わが政府も衷心から賛意を表し、感々この企ては實現に移されることになつた。

即ち、昨春秋家訪のヒトラー・ユングワルト外務部長ラインホルト・シュルツェ氏と文部省關係者との打合せの結果、日本側代表は本月廿五日放艦を出發ドイツに向ひ、七月一日ドイツ軍三ヶ月間ドイツに滞在して交遊、見學を行ひ十一月中旬歸國、一方ドイツ側代表も入れ違ひに來朝し、三ヶ月をお互に滞在することになつた。

これに榮えある青年たちは、全國から選抜された優秀な青少年で、今出發を前にして、擔ひのユニフォームも揃々しく五月五日結團式を行ひ、東京青山の日本青年館に全員合宿して、嚴格な訓練を受けやうとある。

古い傳統が新しい誇りに變り、國民の精神と文化が、未來多しこれら純眞な青年たちを通して理解される時、兩國親善の成果は期して待つべきものかあらう。





この警視庁特別警備隊、都警備隊の大任は、かかつて警備隊にある。未曾有の難路に臨んだ靖國神社臨時大祭には、騎警官も出動して、押寄せ各種者の波を指揮、水際立つた警備ぶりを見せた。

警備隊では、身許の判明しない愛知人の寫眞を、一定様式のカードに貼って整理、一般の人々の自由閲覧に供して、身許判明に努めてゐる。



これぞ警視庁特別警備隊。左小隊にかへた警杖を縦横に活用して、集團示威、群衆警備に出動するが、事あれば、右手の拳銃が、人民の敵滅滅の火蓋をきる。非常時の覚悟も、強く頼むに聚めて、宮城前に駐紮を受ける我等の治安大要隊。

けたましく鳴る非常ベル。すは突撃！と、待機室から、鐵梯を滑り降り、輸送車に飛乗る迄僅か三分。武装犯罪、兇悪なギャングも、この場に撃滅すべく、精進、出動一瞬の特別警備隊。



警視庁の「赤バイ二白バイ」は、不良運転手にはこわいお巡りさん。機嫌はいいが、速力違反は無いかと交通地獄の帝都を疾駆する、赤、白のオートバイは、交通網に悩む市民のよき護り手だ。

懐しの東京。然し、大都市の冷厳な巨手は、時に地方青年子女の夢を打ち砕き、苛責なく取戻の地獄へ突き落とす。かうした、家出人は差の路へと踏みこんでゆかねばならない。そのやうな人々を收容するのが警視庁の積善隊である。飯田橋の同寮には、警視庁の温い手に救はれた人達の仕事を支えながら更生の生活設計に懸命だ。



火災に、地震に、白煙りの車體も鮮やかに駆けつける警視庁救急車は、今迄幾多の尊い人命を救つてきた。権威の陸に差しのべる温い救急の手。警視庁近代施設の中に走る病院、救急車の活動は是非挙げられねばならない。

防疫戦のタンク、清道用自動車は、悪疫の流行し勝ちな夏を控へて、今年も又、我々を恐しい傳染病の猛襲から護つて呉れるだらう。





市民一人残らず防空警備を興へて置かうと、あらゆる機会を捕へて防空隊員は活動してある。トラキムの無料検診が終つたところから、坊やも母さんと一緒に瓦斯マスクをつけて見せうねと、親切に、今日はマスクの手ほどき。

警官で組織した警視廳警備隊も、今は堂々たるバンドに成長した。クラリオネット、トロンボーンが吹き鳴らす警察隊の規律は、行進の士気を鼓舞し、時々催される演奏会は、公務に疲れた警官達に大きな慰めを興へてゐる。



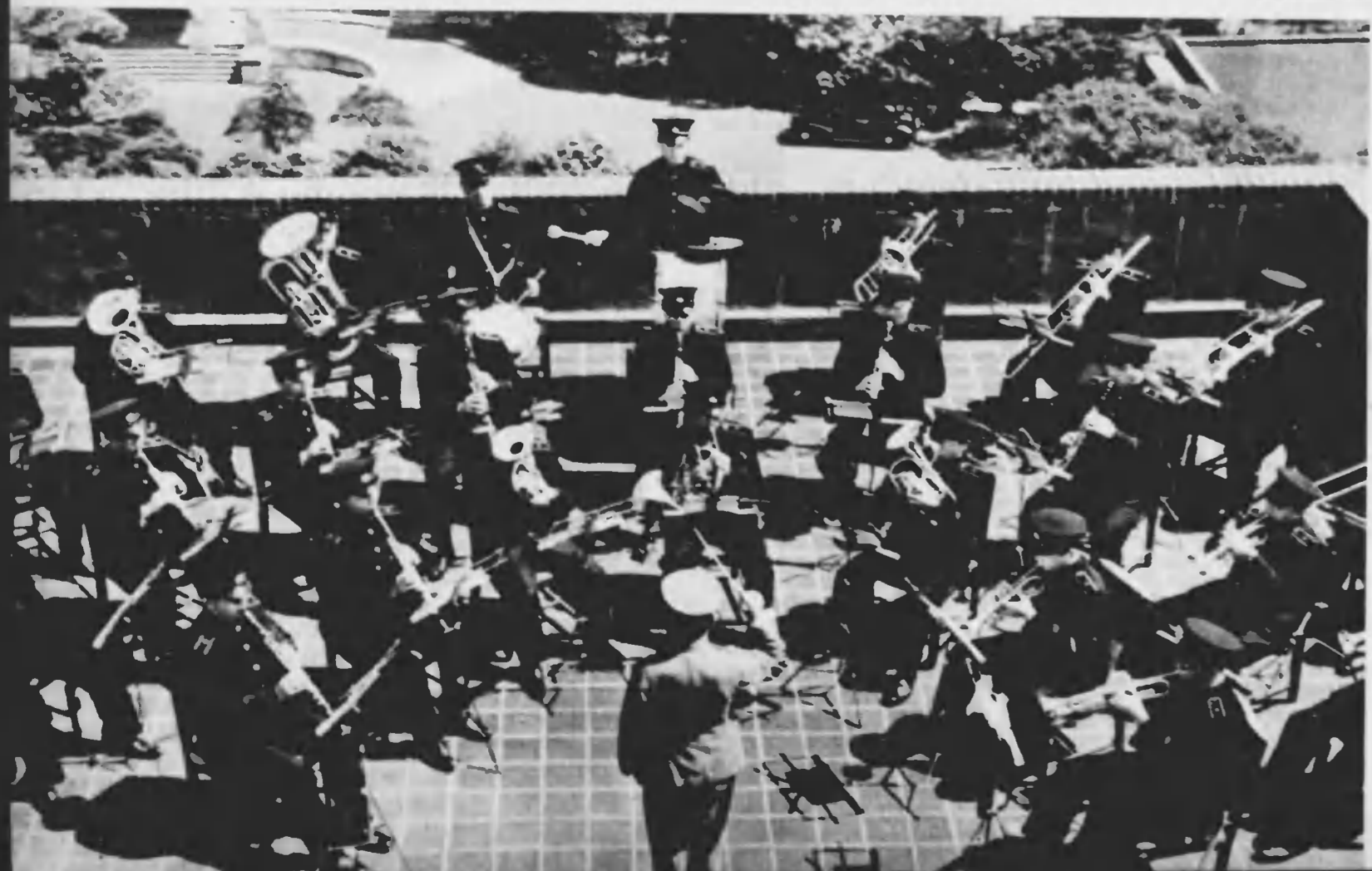
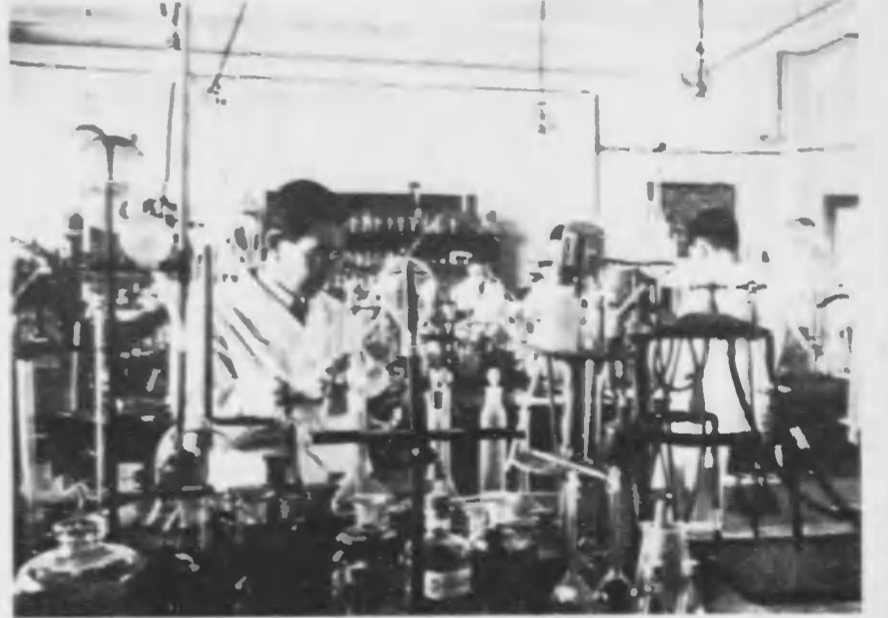
昔備にある自動車検査場だ。乗用車、トラック、オート三輪車、あらゆる車だ、此の近代建築の中を通過して、初めて、街頭に出られる。

運轉手試験所。曲りくわつた道路を踏み外したら、落第の一ストップが待つてゐる。運轉手の卵さんはハンドルにしがみつて、今日は美しい春の浮雲も徒らにバックミラーを流れる。



新聞も、雑誌も、圖書といふ圖書は文字通り檢閲機に山をなす。こゝは、印刷された一秩序安寧の場所だ。

薬品、飲食物、化粧品から、下は汚水に到るまで分析する衛生検査所は、絶えず市民の保健の爲にフラスコを振り、試験管を操つてゐる。インキ業、インキ化学製品など、此處では朝飯前、その尻尾を一析出されて終ふ。



近代捜査隊に「物言はぬ警官」警備犬の活躍は大きい。森林に潜む犯人との距離は、刻々と狭まつてゆく。(ゆくぞい)ちつと、地上の足跡を嗅いでゐた警察犬は、彈丸のやうに駆け出した。(右)

「かれ！」の號令一下、猛然と飛びかゝる警備犬に、どんな兇暴な犯人も、その敵ではなない。軍用犬訓練所で、今日も「もの言はぬ警官」は、その鋭い頭腦と、鋭い牙の武器を磨く。(左)



科學搜查陣

事件發生から
犯人逮捕まで



科學捜査隊の電報！
警視廳の指令通信機
から犯人指名手配の同
時電話が、全警署の電
報を一瞬に鳴らす。

各警署の指
令通信機も
う水も漏らさ
ぬ網は強られ
た。



捜査課長と共に現場
へ飛んだラヂオ自動車
からは、科學捜査隊の
第一指令が、電波とな
って、本署へ。



ラヂオ自動車内の
通話技術は、キーに
頼られた次々と捜査
方針は、空間に閃め
いてゆく。

殺人事件突発！
警視廳からは、現
場へ向つて、捜査第
一課長、係長、鑑識
課長等が、判拾事と
共に急行した。



残忍な犯罪者は遂に
逮捕された。かくて、明
市民は、安らかに、明
るい生活を送り迎へる
ことが出来るのだ。

食装、兇悪犯人に對
しては、鐵甲防彈チヨ
ワキの警官突撃隊が、
出動する。



指紋は分類され、歴
史的な事案は下され
た。鑑識課事務室に
さつと、緊迫の色が流
れる。

これが犯人だ。
具體的に一人の人間が
指摘され、犯罪の公露
は明らかにしつけられ
た。



又、鑑識課化学室で
は、鑑識品に、科學の全機
能を集中し、眼に見えぬ
犯罪者を、居ながらにし
て、追ひつめてゆく。



本署は、本署
の情報を、
ヤツに、
対して、
した。



本署は、本署
の情報を、
ヤツに、
対して、
した。

犬も戦士



軍用犬
競技大会

1 帝國軍用犬協會主催本年度帝國訓練隊犬競技大会は、五月八日東京市外多摩川畔で舉行された。全國三十七支部から選ばれた優秀軍用犬數十頭は實戦さながら、機銃吠え、煙幕たよ中を、川を泳ぎ、障礙をよぎ、野をつきよつて指令の技を説いた。

2 命令一了、鋭敏な鼻に指導士の足跡を嗅ぎつけて進む。

3 跳ぶ。弾丸のやうに、犬は跳ぶ。目的地は見えた。機銃が吠えやうが、煙幕がさへきらうが、ただまつしぐら。

4 任務にはたしつか架つてゐた橋が今は無残に取り外されてゐる。何のこれしきの川位、さうだ、身に託された指令の任務は重たい。一時も早く！ 槍が待つてゐる。

5 無事で歸つて来たか！ 部隊に思はず上る嗚呼の聲、連絡がとれた後方の砲兵陣地から、つるべ打ちの集中砲火は、敵陣を片づつてから撃滅してゆく。(演習場にて同僚記者撮影)

訓練場を駆け巡る、オリーブを舐き、軍用の中を駆け巡る、命令任務をおびてまつしぐらに駆けぬけ、或は深夜の陣営を突如と襲ふ物衣はな職士、軍用犬は今大戦の戦野にわが戦兵にも劣らぬ戦士を立てゝゐる。

現在わが軍用犬としてシベリア、エアゼルナリヤ、及びドニエプ、ペンシエルの三種が採用され、血統正しい第三種の優秀犬、軍用犬として登録されてゐる。必要時隊員軍犬の優秀な性能を確立され、軍の需要がいよいよ増大するに違ひなく、帝國軍用犬協會は

軍用犬の育成に全力を傾けてゐるが、一方その技術向上のためには、各種の軍犬養成所を軍犬としての訓練を施し、又第一回の軍用犬競技会には實戦に同じた訓練を行ひ、軍の戦場があらばいつでもこれに臨むことの出来るやうな戦士をよのへてゐる。

軍用犬の育成は、一に愛犬家の愛護心に俟たねばならない。わが國の愛犬家は三百萬以上に上るといはれる。少くともこの中の百萬人は育成訓練に改良を加へて是非軍用犬にその愛犬家の努力があつてこそ軍用犬の戦野は輝く。



一塊の炭

燃料節約



石炭は石油と共に近代産業交通の原動力である。石炭の需要は産業交通の発達とともに年を追って増進し、殊に我が國では軍需物資以來消費量の急激な増加は大量の石炭を必要とする。又石油、煤に石油の消費節約を断行するためにはその代替燃料としての石炭の消費をいよいよ増加することになった。

昭和十一年の内地石炭消費量は約四千万トンであつて、内地の生産量は遠くこれを全消費量に満たすことが出来ず、その約一割を滿洲國、支那その他からの輸入にまつてゐる。事變下の今日、増進した消費を充たすためには、石炭消費の節約が支那滿洲國及び新領中華民国と日滿支一帯の經濟提携の下に共存共榮の實を擧げるべきこともより合理的であるが、しかし、北支の資源は畢竟我が日支提携の手に渡され、その復興、開發もまた充分ではない。又滿洲國からの輸入も、若し一朝有事に際してその運送に甚大の困難を感ずることあつたときにはどうなる。

政府は燃料節約の見地から、石炭に對しても必要に際しては臨時増産を實現し、増産を要する一方官民一致出来るだけの消費節約を断行することによつて、石炭消費及び生産に從事する者は、この間目的に消費節約の断行を断行することによつて、國內の需要は國內石炭だけで自給自足の出来るやう努力を捧ぐことと、軍事上から云つても産業上から云つても現下の急務と云はねばならぬ。石炭消費の現状をみると、消費者の無關心で、又直接操作に從事するもの、技術の拙劣は操作上の不注意から不知不覺のうち消費されてゐる石炭の量は少なくない。節約の眞面目な心掛け、節約に對する絶えざる工夫は必ずや大きな効果を擧げよう。

石炭消費節約の方法としては、まづ石炭の合理的な運搬、即ち、その用途に従つて、最も適合した種類、品質のものを運ぶことと必要であるが、何よりも要する方の合理化、製煉設備の改良などによつて、所謂燃費率の増進を圖ることが肝心である。例へば石炭投入方法の改善や、焚焼に必要な空気を送る送風装置の改良、塵埃及び蒸気の漏洩防止や排水の純良化等、工夫すべき餘地は多い。又製煉率を増進し、消費節約の徹底を期するためには管理方法の合理化にとめることも亦大いに實行すべきである。即ち、消費節約管理の責任者を定め、直接操作に從事するものに燃費率増進のための要する方を指導させ、焚煉設備の異常な検査を断行し、或は石炭消費量を以下に節約することの出来た従業員に對して、賞金の法を講ずる等、石炭消費節約の努力にまつべきところは多々ある。

石炭の燃費節約の断行に、ためには、單に直接石炭の節約だけでは不十分である。ガスの節約も、電氣の節約も、間接に石炭の節約をもたらすことになる。石炭の節約はまづ家庭からの意識を以て、國民一般も亦、國民精神總動員の標榜の下に、進んで節約断行の断行に參加して頂きたい。



燃料の消費節約はまづ家庭から。事務所ではガスも石炭から製造される。無駄にお湯を沸かさないやう注意しませう。

全廠の風呂屋さんが消費する石炭は年額約百萬トン。朝風呂禁止によつて約二十萬トンの石炭が節約されることになる。朝風呂の爽快味も時局重大とあれは暫し我慢しやう。

運轉用石炭使用成績は、機關員従事員の誰もが取付けた高いやぐらの側面に掲げられて居る。如別成績、日別の成績、標準量に對する増減はかうして一目瞭然。奇い菜一つば腹に身を穿めた産業第一線の仕事は此の指標を見上げては日夜我が胸を擧げ、機關員の成績向上に努める。



石炭消費節約の責任をかけたまはるメカニカル・ストーカー(自動給炭機)一機に多量の石炭をボイラーにくべることは最も不經濟な働き方だ。この装置は、上から流しこまれる微粉炭をエスカレーター式に、錐狀火床に少量づつ、萬遍なく且緩慢にボイラーの中に送り込む。完全燃焼した石炭の灰はそのまゝ火床と共に外部に取り出される。



表彰状

高島機關庫
右昭和十年四月ヨリ十一月三
月廿一日迄十二月間機關車用燃
料使用成績優良ナリシ、畢竟庫
員一同協力一致燃料節約ニ努力セ
テ、致メ所トス、仍テ當局燃料使用成
績優良庫表彰規程ニ據リ茲ニ
之ヲ表彰ス
昭和十一年六月五日
東京鐵道局長は西谷四郎





いまは山中、いまは溪、いまは汽車旅行に煤煙は禁物、不愉快な黒煙は石炭の不完全燃焼のしるしだ。國鐵では石炭の焚き方研究に莫大の努力を傾けること過去半世紀、今嵐疾と走る無煙の姿はその努力の賜物である。



石炭に適當の温氣を與へることはその燃焼効率を良くし、又細い石炭の飛散を防ぐ。炭水車に山と積まれた煉炭は、運轉室の屋根に設けられた撒水装置から雨下する水に黒光る。

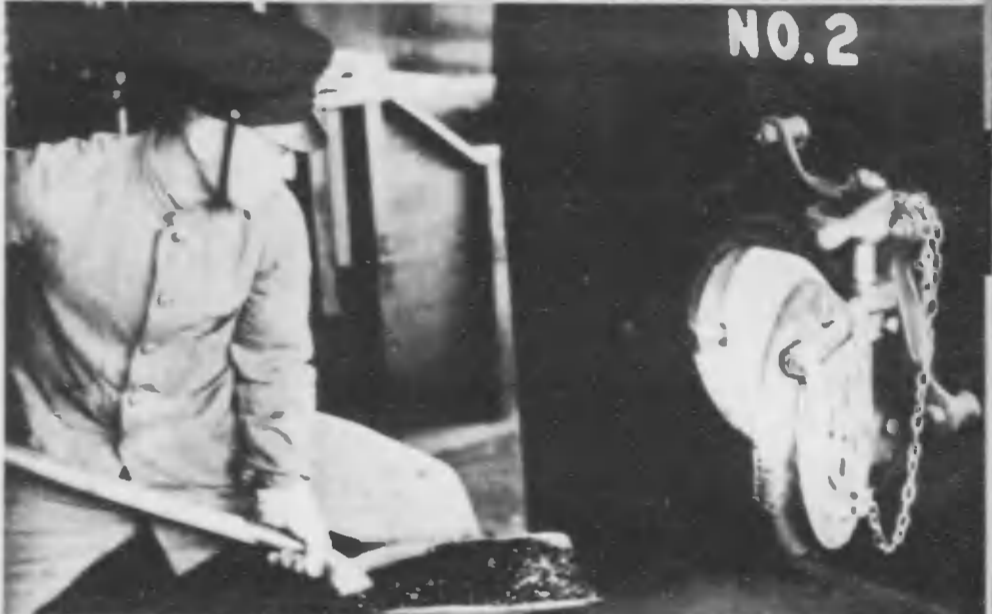
鐵道省の石炭消費節約

鐵道で消費する石炭、有用なものは全國石炭消費量の約一割、實額五千萬圓の巨額に達する。鐵道省は、この文化興隆の要として全職管々、補給、運送、修理の要を是れり。補給は又鐵道省第一の石炭消費費である。従つて鐵道省は石炭消費節約に關して、過去過去半世紀に亘りあらゆる苦心と努力を傾け、全職管を徹底的に研究して來た。殊に必要下置き費の確保が重要として注視される。殊に第一節を守るには、補給の苦心は

此の石炭消費の節を持つのは實に何等の補助士を頼る補助士である。國鐵では補助士が石炭の焚き方として、片手焚きと稱する方法をとり、石炭の完全燃焼に努め、又各補給所には補給火室を設けて、鐵道に急がしむ。その他補給所と補助士を一つとする石炭消費節約の補助士が、日々自給され、又一年一度各個人、或は機關相互間に競争會が開かれ、所謂最少の石炭を以て最大の効率を上げる爲めにあらゆる手段を用ひられて來る。

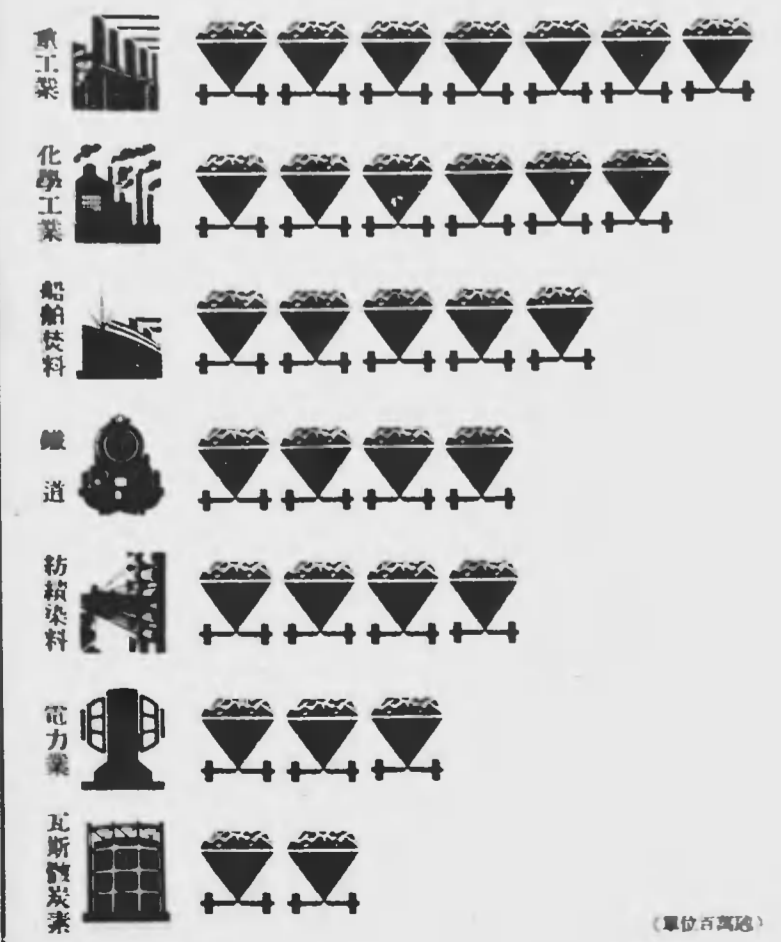
新らしく補助士見習となるものに、この片手焚き法を充分會得させるためには高價のやうな模範火室を作り、四百キロの石炭を十六分間に投じて、仕事を一日何回となく練習し、技術が充分呑みこめるときはじめて實際の機關車に火を焚かせる。又、この模範火室による作業の巧拙は實際の多量に直接關係して、或は補給所一年に數回、各個人、或は機關相互間にこの競争會を開いて技術の競ひをせよ。又、或は機關相互に表彰状及び賞品を贈る。小費を省いた焚き方の設備で、異なる電燈を防止するため、國鐵が用ひておるリッセルマン式煤色識別計。

國鐵が世界に誇る片手焚き法、補助士は石炭一脱位を捕ふに足る小形の片手式シヨベルに、石炭を少量づつ、而もボイラーの火床に高温なく行き渡るやう、次は完全に燃焼し、消費費は節約される。



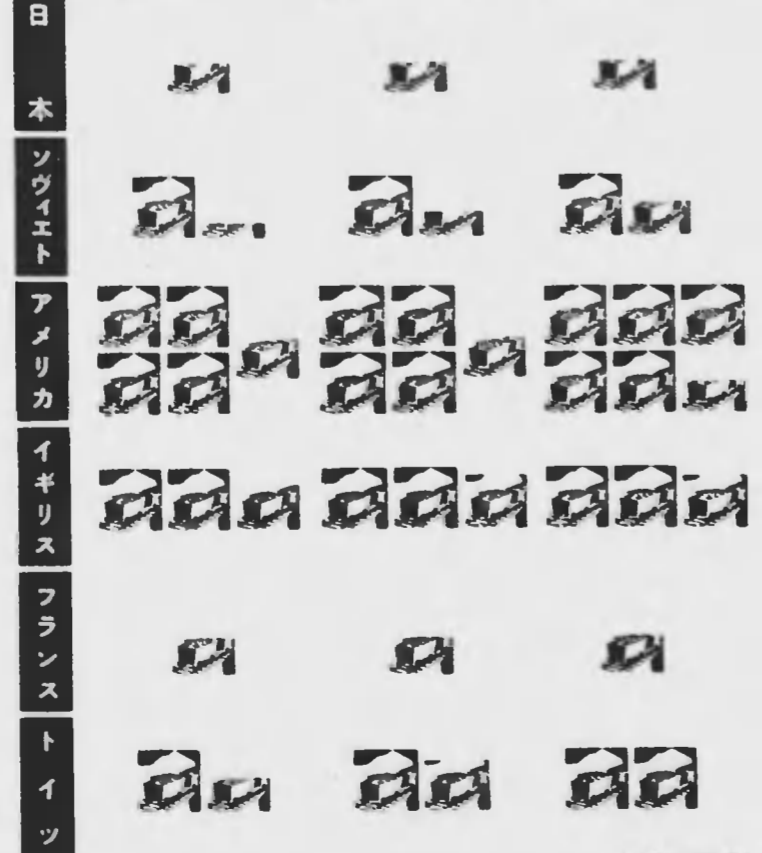
我が産業別石炭消費高

(昭和十一年度・石炭消費聯合會)



世界石炭産額比較

昭和九年 昭和十年 昭和十一年



見よ！試練の日本 銃後の力 大阪府

銃後を護れと説き立つる砲臺の兵士は、こゝでも砲臺だ。たとへば一段の野も山も荒れたまゝであつてはならぬ。銃に巻く玉の汗に愛國の赤心は光る。
豊能郡止々呂美村努力奉仕團



今の戦ひは資源の戦ひだ。資源を愛護せよ！山林の手入れ、植栽建設等の奉仕作業を終へた若人の一隊が合唱する愛林歌の素材なメロディは生ひ茂ける杉林に力強くこだまする。
府立豊野養生努力奉仕團

その昔、楠公が一身以て立てこもり、大君のため奮戦した金剛の靈峰を仰げば若人の意氣もまたいやまじに上る。
泉州新西島城村藤原地森林治水努力奉仕團



男は開學の第一線に女子は學校の兵站部にそれ／＼部署についで甲斐々々しい働き。彼れて歸つて来る男子の方にたとへて美食はななくとも、せめて暖かい御飯をと、女子青年團の心根は嬉しい。
泉州郡信連村努力奉仕團女子部

朝まだき、山腹を渡る初夏の風が、揺動される日の丸をはた／＼翻せば、團員の顔も凛然とひき緊る。
泉州郡東信連村努力奉仕團



読者のカメラ

勃漢海上の獨逸合邦投票
満洲日新聞社 高野 啓
獨逸合邦を決定すべき、歴史的國民投票は、去る四月十日、この勃漢海上の獨逸汽船でも一等運轉士を委員長にサロンを投票場として行はれ、投票終了後、やがて同胞となるべき喜びに獨逸國民は互ひに肩をたさき、手を握り、感激のうちにハイル・ヒットラーを叫んだ。



キンガミ献金

東京市京橋區 増田 啓男
私は前日二銭のお釣をもらへるのが大のしみでお父さんのバットを買いにタバコ屋へ走つたものでした。でも今は違ひます。一枚のキンガミでもこれがお國のために何かの足しになると思ふと、その嬉しさが一杯でタバコ屋さんの献箱箱へキンガミ献金に走ります。

合祀の日

東京市渋谷區 菊 込 隆一
護國の雄魂四千五百三十三柱の合祀の日、母も兄も私も銃後の國民として靖國神社の神前に祈つてきました。





國民精神總動員
懸賞愛國寫真募集

内務大臣杯・文部大臣杯・内閣情報部長賞授與
 國策の啓蒙宣傳に内閣情報部は寫真による週報「寫真週報」を發行致しました。これを記念して舉國一致のこの秋、國民精神總動員に關する懸賞寫真を募集致します。全國カメラマン諸君はこの時局にふさはしい題材を選んで愛用のカメラを動員し寫真家は寫真によつて國策遂行に協力し「寫真週報」に寄與致しませう。

題材 國民精神總動員運動に關するもの

1. 日本精神發揚として、國旗掲揚、日本民族性の美しさ等。
 2. 社會風潮の一新として、各種の公民訓練、時局柄の風俗、公徳心の涵養、公共物の保護、新しい結婚式等、射野向上運動、早起會、ラヂオ体操、各種の體育訓練等。
 3. 銃後の應援、相互扶助、勞働奉仕、戰捷祈願、前線及び傷病兵士の慰問、各種産業等。
 4. 國土愛護、陸海空の要、我等の國土の美しさ、郷土藝術の振興等。
 5. 資源愛護、廢品の利用、副業の振興、空地の利用、開墾事業等。

★題材は一例を示したもので主旨に添ふものなら此の他何でもよい。

懸賞規定 (詳細は四月二日、報知新聞開朝刊参照)

賞格 制限なし
 原板 自由(國産品使用のこと)
 印畫紙 自由(同)
 大きさ カビネ判以上、寄附引伸自由

賞

一等 内務大臣杯 副賞金二百圓
 文部大臣杯 副賞金二百圓
 内閣情報部長賞 副賞金二百圓
 二等 内務大臣杯 副賞金一百圓
 文部大臣杯 副賞金一百圓
 内閣情報部長賞 副賞金一百圓
 三等 内閣情報部長賞 副賞金五十圓
 國民精神總動員記念賞 五十名

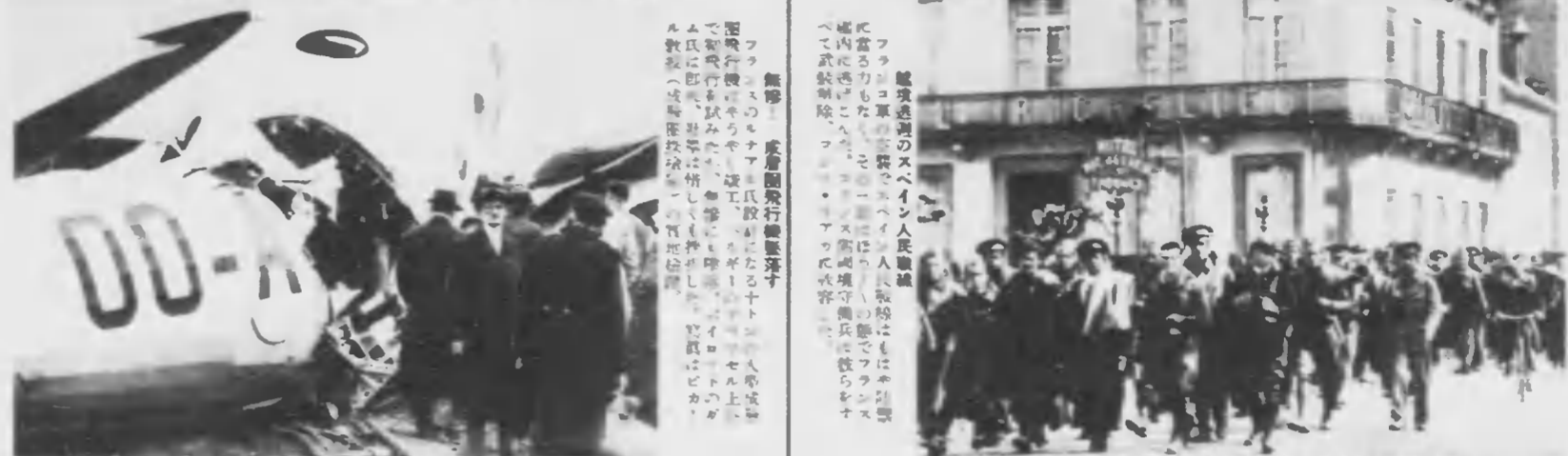
提出方法 寫紙は使用せず、印畫紙の裏面に懸賞標を貼附し各項に必要事項を記入のこと、但し懸賞標を自製するも差支へなし

▼データー以外に寫眞の説明を必ず附すこと

締切 昭和十三年六月十五日、東京丸の内報知新聞社企業部内報知寫眞部

主催 報知新聞社
 後援 内閣情報部
 協賛 富士寫真フィルム株式会社

海 彼の 方



寫真募集規定

本誌は「寫真週報」の一助にもつて、本誌に出来る限り紙面を開放し、諸君のカメラを動員、優秀な技術を持つてゐる。題材は内外陸、國策の宣傳に關するものなら何でもよい。家庭、學校などにも、或は工場、官廳、國民精神總動員風景、或は季節と世相の面白い組合せなどいろいろでせう。一夜の寫眞でも數枚ひと組の寫眞でもよく、締切期日は決定せず、サイズはキリノ判以上、掲載の分には海潮又は紀念品を贈呈し、版権は當部に歸するものとす。懸賞作品は一切返却せず。

内閣情報部

所 込 中	價 定	所 込 中	價 定
寫真週報(兼轉載)	一年(前金) 四圓八十錢	寫真週報(兼轉載)	一年(前金) 四圓八十錢
寫真週報(兼轉載)	半年(前金) 二圓四十錢	寫真週報(兼轉載)	半年(前金) 二圓四十錢
寫真週報(兼轉載)	三個月(前金) 一圓二十錢	寫真週報(兼轉載)	三個月(前金) 一圓二十錢
寫真週報(兼轉載)	一ヶ月(前金) 六圓十錢	寫真週報(兼轉載)	一ヶ月(前金) 六圓十錢

昭和十三年五月十八日印刷發行
 發行所 内閣情報部
 印刷所 大日本印刷株式會社
 東京市牛久保區市谷
 電話 一ノ二二二

内閣情報部編輯部

週報

仕事の
 余暇に
 養ふ常識



毎水曜日發行

見本御希望の方は内閣印刷局宛御申出下さい

内閣印刷局發行
 東京市牛久保區市谷
 電話 一ノ二二二

定價
 一年(前金) 四圓八十錢
 半年(前金) 二圓四十錢
 (要送料送)

寫眞週報

昭和十三年五月十八日發行 (毎週一週水曜日出行) 第十四號

內務大臣盃・文部大臣盃・内閣情報部長盃授與

國民精神總動員

愛國懸賞寫眞募集

主催 報知新聞社
後援 内閣情報部
協賛 富士寫眞フィルム株式会社

カメラを國策の線にのせて
全カメラマン總動員の時!
傑作を一愛國懸賞へ



國唯一の純國産

富士のフィルム

ネオバンクロ・ネオクローム

(本書の大きさは規定規格A・「週報」倍率)